

# 秦野市多世代交流施設整備基本構想（案）について



2025年（令和7年）11月

## 目 次

- 1 秦野市中心市街地活性化基本計画策定までの経過と中心市街地活性化の目標
- 2 秦野駅北口まちづくりビジョンで描く将来像
- 3 秦野市中心市街地活性化基本計画に掲げる事業一覧
- 4 秦野市中心市街地活性化基本計画に掲げる重点事業
- 5 秦野市多世代交流施設整備事業について

# 1 秦野市中心市街地活性化基本計画策定までの経過と中心市街地活性化の目標

## 秦野市中心市街地活性化基本計画策定までの経過

策定時期	計画等の名称	内容等
令和3年12月	小田急4駅周辺にぎわい創造に向けた 中心市街地活性化推進方針	【指標】 駅周辺市街地における歩いて楽しい、歩いて暮らせる まちづくりの推進
令和4年8月	商業・業務系土地利用推進重点区域の決定	県道705号沿道を中心とした区域について、 利用価値向上や不整形地等の整理に取り組む。

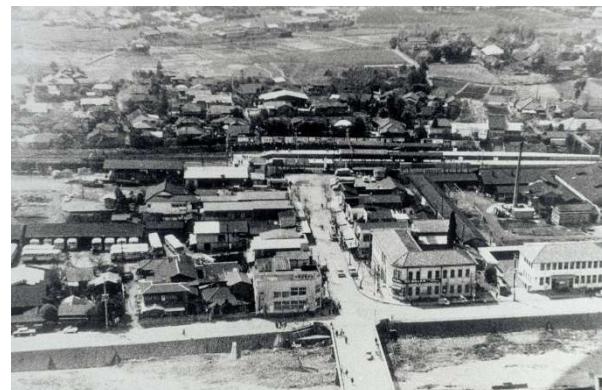
小田急線4駅



商業・業務系土地利用推進重点区域



秦野駅北口（昭和40年頃）



サクラマーケット（昭和55年頃）



県道705号沿道（昭和46年）



県道705号沿道（令和4年）



# 1 秦野市中心市街地活性化基本計画策定までの経過と中心市街地活性化の目標

## 秦野市中心市街地活性化基本計画策定までの経過

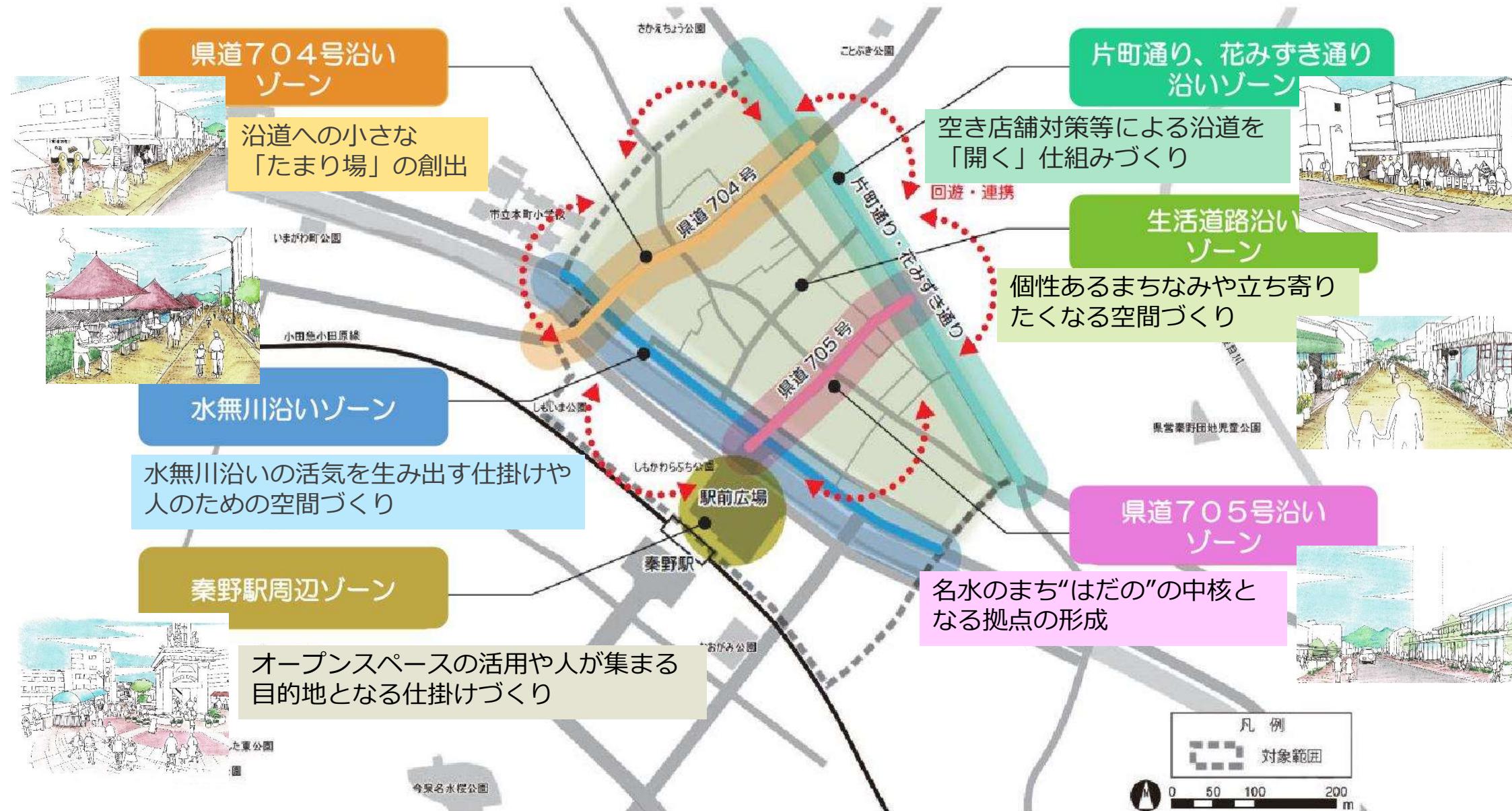
策定時期	計画等の名称	内容等
令和5年11月	秦野駅北口周辺まちづくりビジョン 	<ul style="list-style-type: none"><li>地域資源や地域活動の蓄積を生かしながら公民が連携してまちづくりに取り組むための指針として、地域住民や商店街、企業とともに、シンポジウムやワークショップを行いながら策定。</li><li>区域を6つのゾーンに分け、それぞれの将来像を示す。</li></ul>   
令和7年3月 (策定及び国の認定)	秦野市中心市街地活性化基本計画	<ul style="list-style-type: none"><li>秦野駅北口周辺まちづくりビジョンの実現可能性を高める実行計画として令和7年3月に策定し、同月、中心市街地の活性化に関する法律に基づき内閣総理大臣の認定を受ける。</li><li>主要事業に「多世代交流の場の整備」、「商業・業務の新たな核づくり」、「水無川沿い公共空間の活用検討」を掲げ、ハード、ソフト合わせて約50の事業を国の支援を受けながら取り組む。</li></ul>

## 秦野市中心市街地活性化基本計画で定める中心市街地活性化の目標

区分	内容	目標
将来像	—名水と歴史がつなげる未来— しなやかな街なか暮らし	
基本方針	・人との交流・活動が生まれるまち	➡ 交流人口の拡大
	・“はだの”ならではの楽しみがあり、歩きたくなるまち	➡ 歩道及び滞在空間の快適性の向上
	・便利で快適で住み続けられるまち	➡ 生活利便性の向上

## 2 秦野駅北口周辺まちづくりビジョンで描く将来像

地区のポテンシャルと課題から分類した、6つのゾーンごとに、目指す将来の方向性を整理します。



秦野駅北口周辺まちづくりビジョン

## 2 秦野駅北口周辺まちづくりビジョンで描く将来像

『県道 705 号沿いゾーン』の目指す将来のイメージ

名水のまち“はだの”の中核となる拠点が形成され、地域の人と“はだの”を訪れる人との様々な交流が生まれている

公共空間 × 憇う

“はだの”人 × 交流する

はだの暮らし × 発信する

### 将来の空間イメージ



国土地理院撮影の空中写真（2019年撮影）を加工して作成

- 交流拠点では、地域の文化拠点として、小さな子供が安全に遊べる場や仕事や勉強のできる場が整い、地域の多様な人々に利用されています。
- 秦野名水を体感できるなど、“はだの”的魅力を発信する場が設けられ、来街者と地域の人々が自然に交流し、新たな活動が生まれています。
- 拠点のにぎわいが通りにも波及し、多くの人が行き交っています。

### 将来のイメージ



### 実現に向けた取組みと取組みのプロセス

まずは  
やってみる

#### にぎわいの効果を測る

県道 705 号沿道の未利用地や建物などを活用し、子供の遊び場や休憩スペースを設ける。沿道の店舗などとも協力し、テイクアウトの飲食を提供してもらい、人のたまり場をつくることで、にぎわいの効果を測り、拠点の創出につなげる。



#### 交流拠点の場づくり

公共用地などを集約し、地域住民や来街者等の交流の場・機会を創出する。

将来実現  
したいこと

#### はだの暮らしに欠かせない交流・情報発信拠点の形成

はだのの人々の暮らしに欠かせない交流・情報発信拠点となる。

### 3 秦野市中心市街地活性化基本計画に掲げる事業一覧

- 市街地の整備改善のための事業
- 都市福利施設の整備のための事業
- まちなか居住の推進のための事業
- 経済活性化向上のための事業
- 公共交通機関の利便性増進のための事業
- ※太枠線は主要事業



- ・まちなかこども支援拠点整備事業
- ・まちなか若者活動拠点整備事業
- ・市民活動スペース整備事業
- ・まちなか健康づくり事業
- ・まちなか図書館事業
- ・市民学習講座事業
- ・ギャラリー等の整備事業
- ・多目的ホール整備事業
- ・まちなか防災機能整備事業
- ・魅力情報発信盤整備事業（施設内外）
- ・秦野名水活用検討事業
- ・公共施設ストックマネジメント事業
  
- ・民間事業者による商業イベント・研究会事業
- ・商店街空き店舗対策事業
- ・商店街販売促進事業
- ・電子地域通貨関連事業
- ・商業施設建築利子補給金交付事業
- ・既存商業施設リニューアル整備費補給金交付事業
- ・秦野たばこ祭開催補助事業
- ・地域の回遊性に資するイベントの実施事業
- ・まちなか開業サポート事業
- ・登録文化財の維持及び活用支援事業
- ・レトロ空間形成支援事業
- ・デジタル空間形成支援事業
- ・商店街等診断・サポート制度活用事業
- ・中小企業アドバイザー制度活用事業
- ・中心市街地活性化協議会運営支援制度活用事業
- ・まちづくり会社設立支援事業
- ・地域ブランド推進補助事業
  
- ・多世代交流拠点関連事業
- ・多世代交流拠点区画道路整備
- ・滞在空間創出快適性向上支援事業
- ・壁面後退用地整備事業
- ・地区計画策定事業

## 4 秦野市中心市街地活性化基本計画に掲げる重点事業

### 多世代交流拠点整備事業

【関連する方針】人の交流・活動が生まれるまち

概要	現在までの主な取組
県道705号沿道に秦野駅北口周辺のにぎわい創造に資する多世代交流拠点の整備をする。	<ul style="list-style-type: none"><li>社会実験の実施（令和5年7月）</li><li>現況調査、測量、権利調査、及び基本設計等</li><li>施設に必要な機能の検討（市民検討会、ワークショップ等）</li></ul>



### 商業・業務の核づくり

【関連する方針】便利で快適で住み続けられるまち

概要	現在までの主な取組
市及び市土地開発公社所有地を含む一団の画地を整理し、商業・業務のための高度な土地利用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"><li>秦野市商業地における企業等の立地及び施設再整備の推進に関する条例の制定(令和4年3月)</li><li>商業・業務系土地利用推進重点区域の決定</li></ul>



### 水無川沿い・市道6号線公共空間の活用検討

【関連する方針】“はだの”ならではの楽しみがあり、歩きたくなるまち

概要	現在までの主な取組
駅とまちなかをつなぐ交流・滞留空間の創出を図るため、市道6号線を含む水無川沿いの公共空間の活用方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"><li>ビジョン策定の際のワークショップ（活用検討）</li><li>社会実験の実施（令和5年1月、令和6年8月） →ビジョンのキーワードである「水辺や景観を楽しめる街」と「人を中心の街」の実現に向けて、『居場所のあり方』と『環境のあり方』を検証</li></ul>



## 秦野市中心市街地活性化基本計画に掲げる重点事業



## 5 秦野市多世代交流施設整備事業について

### (1) 構想策定の目的

秦野駅北口周辺まちづくりビジョンでは、県道705号の沿道に多様な人々が集まり、交流が生まれる市の中核となる拠点を形成し、その効果が周辺に波及することを目指すこととしました。そこで、多世代交流施設の実現に向け、基本方針や導入する機能、事業手法等の方向性を示し、市民の皆様と共有するため、本構想を策定するものです。

### (2) 施設のコンセプト・基本方針

はだのでの様々な出会いや学びを育む交流拠点

### (3) 基本方針

#### 基本方針1 「交流機会の創出」

市民活動やイベント開催を支援し、多世代・多分野の交流を促進します。

また、自主企画や定期的なワークショップを通じて、市民の主体的な参加を促します。

#### 基本方針2 「学びや仕事の場の創出」

学習・ワークスペースや図書機能を整備し、幅広い世代に学びや気づきの場を提供します。

また、リモートワークや起業支援の拠点としても活用し、地域経済の活性化を図ります。

#### 基本方針3 「子育て支援の場の創出」

子どもの遊び場や子育てサービスを充実させ、安心して過ごせる親子の交流拠点をつくります。

また、子育て相談窓口を設置し、地域全体で子育てを支えます。

#### 基本方針4 「魅力や活動の発信」

地域の魅力や活動情報をデジタルサイネージなどを活用して発信します。

また、観光客や来訪者への情報提供を充実させ、市民の活動成果を広く共有できる展示・情報共有スペースを整備します。

# 5 秦野市多世代交流施設整備事業について

## (4) 導入機能及びイメージ

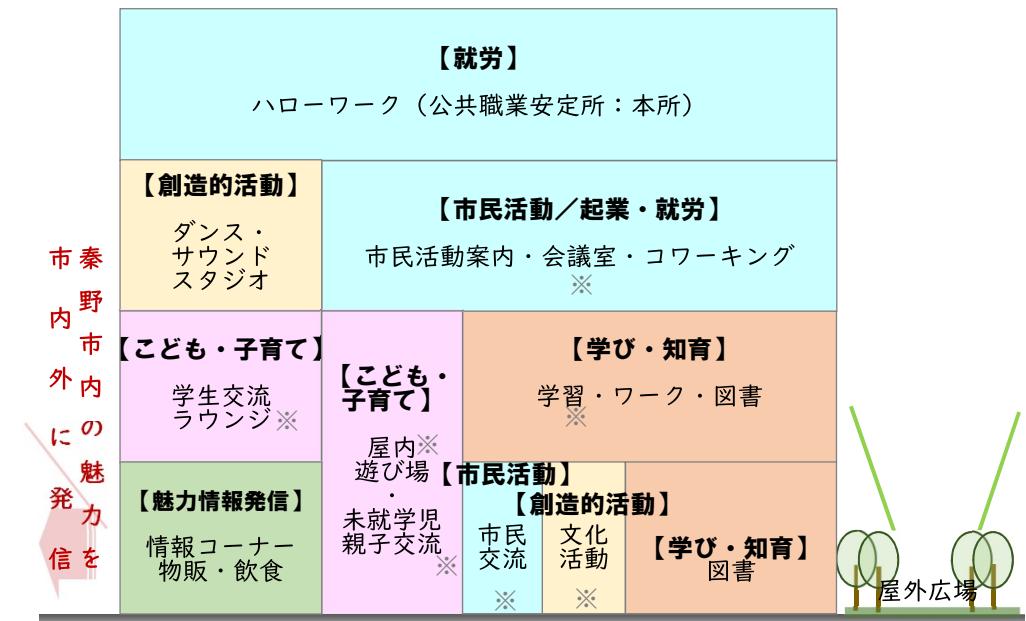
本交流施設は、「こども・子育て」「学び・知育」「創造的活動」「市民活動／起業・就労」「魅力情報発信」の5つの機能を軸に、それが連携することで多世代の交流を促進します。親子は子育ての場で安心感を得られ、学生は学びの機会を広げ、企業は新たな協力関係を築くなど、誰もがこの場を通じて居心地の良さだけでなく、新たな気づきや発見、共感、創造を通じた価値を見出します。そして、多世代交流によってその価値が結びつくことで、地域全体が支え合い、発展する拠点を目指します。

### ■導入機能イメージ



### ■多世代交流施設のイメージ

※印:はだのこども館の既存機能を移転



### ■実現に向けたポイント

- 「はだのこども館」の機能を移転
- 「図書のある空間」を整備し、学びの場を提供
- 「ハローワーク（公共職業安定所：本所）」の入居



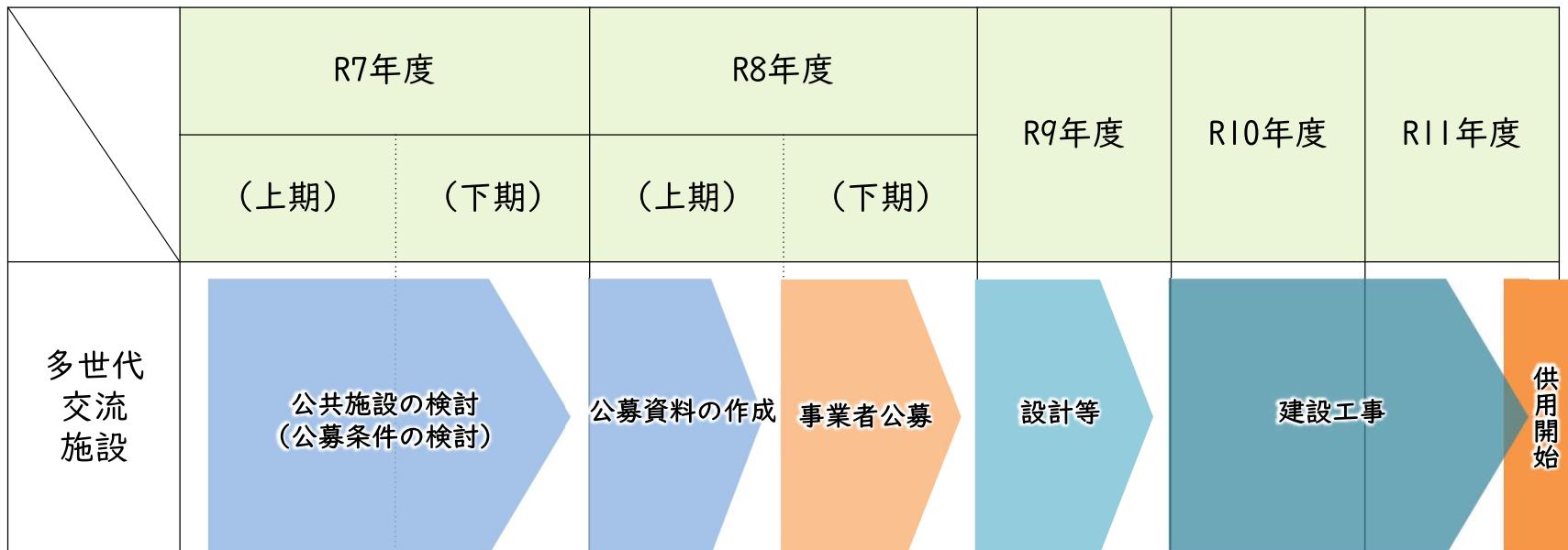
子育て支援施設ツナグテ(岐阜県岐阜市)



ギャラクシティ (足立区)

## 5 秦野市多世代交流施設整備事業について

### (5) 想定スケジュール



### (6) 事業概要

項目	内容	項目	内容
事業区域	約4,000平方メートル	構造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	約3,300平方メートル	階数	地上3階～4階
延べ面積	約5,000平方メートル	事業費	約40億円（社会資本整備総合交付金、中心市街地再活性化特別対策事業費（特別交付税）などを活用）
建築面積	約1,500平方メートル		